

審査員にインタビュー！

審査員の方のうち、伊奈高校の皆さんと、「米・食味鑑定士」や「ごはんソムリエ」など多彩な肩書きを持つ柏木 智帆さんにお話を伺いました。

伊奈高校の皆さん

前回は炊飯ボランティアとして参加しましたが、今回は初めて審査員として参加しました。お米はどれも味や香りに個性があり、その違いを審査することは難しくもありましたが、一つ一つのお米の魅力を感じることができました。



柏木 智帆さん（米・食味鑑定士／ごはんソムリエ）

ここ数年は猛暑の影響で、美味しいお米はなかなか作りづらかったと思います。

特に今年は、猛暑のほかに長雨や渇水などの自然環境が影響した年でしたが、生産者の皆さんがここまで仕上げてこられたのは、本当に素晴らしい

と思いました。

生産者の皆さんのが詰ったお米なので、責任を感じながら味わせていただきました。



みらいアンバサダー

なかがわ よしみ

中川 佳省さんにインタビュー！

令和7年にみらいアンバサダーに就任した、市内在住の料理研究家 中川 佳省さん。アンバサダーとしてさまざまな形でコンクールに携わった中川さんに、コンクールの感想を伺いました。

市内外から多くの方がいらっしゃって、会場は大盛り上がりでした！

当日は屋外ブースで、来場者の皆さんに「金芽米」や「お米を食べよう運動」のPRをいたしました。ブースにいらっしゃった方から「広報12月号で見ました！アンバサダーの人ですよね！」とお声掛けいただいた時は嬉しかったですね。

また、「みらい米ダンサーズ」としてお米の魅力をPRする歌やダンスを披露するなど、さまざまな形でコンクールに携わせていただきました。そのおかげで、多くの方にお米の魅力をお伝えすることができました。

また今回、市内産米がめでたく国際部門の金賞を受賞し、その美味しさが証明されたので、市内産米の魅力をこれまで以上にPRしていきます！



みらいアンバサダー

市内産の農産物などの魅力を市内外に広く情報発信するために、本市が設立した「つくばみらい市みらいアンバサダー」。

中川さんはこれまで、市内産の農産物を使った料理教室や食育授業を開催したほか、「毎日お米を食べよう運動」をPRする「みらい米ダンサーズ」として、さまざまな場所で積極的に活動されてきました。



全国農業高校 お米甲子園 2025



全国農業高校 お米甲子園 2025
プレゼンテーション部門



栽培別部門



大型農業法人部門